



朝霞第四小だより

《学校教育目標》
かしこい子
やさしい子
たくましい子

朝霞市立朝霞第四小学校 〒351-0015 朝霞市幸町1-6-9
TEL (461) 0363 E-Mail 4shou@asaka-c.ed.jp
発行責任者 校長 内田 隆

コミュニティ・スクールとしての2ヶ月

校長 内田 隆

梅雨本番となり、気温が低く肌寒い日が続いたかと思うと、太陽が顔を出すと途端に気温が上がるといった、体にも気持ちにも負担のかかる時期ではないでしょうか。しかし植物にとっては恵みの雨であり、成長の光となっていると言えるのかもしれない。

さて朝霞第四小学校は、この4月からコミュニティ・スクールとしてスタートしたことはお伝えしてきました。なぜ、コミュニティ・スクールにしたのか。それは子供達にとって大変有意義な取り組みができる。さらに学校にとっても、地域にとってもプラスになることが多いと思ったからです。文部科学省のHPにはコミュニティ・スクールにするメリットや魅力が掲載されています。その一部を以下に掲載します。

これからの時代を生きる子供たちのために

これからの学校は、変化の激しい社会の動向にしっかりと目を向け、教育課程を工夫し、教育活動を展開する必要があります。だからこそ、保護者や地域住民とお互いの情報や課題を共有し、「これからの時代を生きる子供たちのために」という共通の目標・ビジョンを持って、同じベクトルで日々の教育活動を進めていきたいと考えたからです。

社会総掛かりで子供たちを育む体制を作るために

学校評議員会の仕組みを発展させ、さらに多くの地域住民や保護者に子供たちの成長に関わっていただけるような学校にしていきたい、信頼できる大人と関わる機会をたくさん作りたいと考えたからです。

連携・協働体制の構築に向けて

私たちの町には、社会教育関係団体がたくさんあります。学校と地域はパートナーとして連携・協働し、子供たちの学びを充実させていく必要があると考えます。

文部科学省のHPより抜粋

コミュニティ・スクール化を一つのきっかけとして、学校の課題解決に取り組むことを考えました。そして早くも2か月が過ぎ、現在の朝霞第四小学校を取り巻く状況をお伝えしておきます。

学校だより5月号でもお知らせしたように、学校ファームが蘇っています。地域、PTAの方々の努力のおかげです。学校ファームの管理だけでなく、校地内の除草や植木剪定にも取り組んでいただいています。

また校外学習の見守り活動には、多くの保護者の方に参加していただきました。安心した校外学習を実施することができました。5年裁縫学習では当該学年保護者だけでなく支援をいただきました。裁縫の基礎を指導していただいたり、児童への声掛けでやる気を出させたりと大活躍していただきました。

昨年度末には現在の中学1年生になった子供たちが、学校南側道路脇にパンジーを植え付けしました。パンジーの管理には近所の方々が除草や散水、寂しくなった部分への新たな花の植え替えを行ってくれています。ご近所の方々の自主的な取組で、大変嬉しくありがたい協力です。ありがとうございます。今週には、パンジーからマリーゴールドへの植え替えを行う予定です。

そのほかにも現在、計画を進めている取組があります。PTAによる校内美化活動です。児童の大掃除に合わせて、普段なかなか手の届かない場所のお掃除を計画していただいています。PTA広報紙も保護者の負担軽減と内容充実、変更を検討していただいています。

地域・町内会の方々は防犯組織をつくり、子供たちの見守り活動に取り組まれています。(埼玉県のHPで「埼玉県南西部地域振興センター」と検索すると「旭通り町内会防災部」の活動が紹介されています)子供たちの登下校の見守りと誰もが安心して暮らせる安全なまちづくりの取組に感謝いたします。

11月2日(土)の学校公開に合わせて「防災フェスティバル」と名付けた避難訓練と引き渡し訓練を予定しています。引き渡し訓練の後には、町内会と保護者の顔合わせができないかと考えています。実際に災害が起きた時には四小は避難所となります。避難所の運営には地域の協力が欠かせません。町内会と四小保護者の顔の見える関係を築いておかなければ、子供たちの安全は確保できません。子供たちの命を守るための活動です。ぜひご協力ください。

引き続き、児童の啓発的経験、体験的な学習の取組を充実してまいります。保護者、家庭、地域の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

